

コープみらい最大規模の新店舗 「コープ葛飾白鳥店」 6月25日(火)午前9時オープン

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、6月25日（火）午前9時に、東京都葛飾区に「コープ葛飾白鳥店」をオープンいたします。

コープ葛飾白鳥店は、ショッピングセンターとして、1階にコープ店舗を配置し、テナントとして1階にドラッグストア、2階に衣料、靴、均一価格ショップ、フィットネスクラブ、クリニックモールなどが入居します。

店内は、インスタ作業室のガラス窓を天井まで拡大してライブ感のある売り場づくりを行うとともに、「おいしさ」「健康」「簡便」「即食」をテーマとした豊富な品揃えとコープならではの商品価値を訴求。地域の多くの組合員・消費者に支持され、コープのファンになっていただける店舗を目指します。

このたびのオープンにより、葛飾区内の店舗は、「コープ亀有店」（コープ葛飾白鳥店から0.7キロ）に続き2店舗目となります。コープみらい全事業エリアでは、東京都が73店舗、埼玉県が44店舗、千葉県が18店舗、合計135店舗（スーパーマーケットタイプ69店、ミニコープタイプ66店）となります。

当日はオープニングセレモニーを開催いたします。また開店後の店舗の内覧と共に、説明会の時間を設けておりますので、ぜひご取材いただけますと幸いです。店舗の詳細につきましては次ページ以降をご参照ください。

■「コープ葛飾白鳥店 オープニングセレモニー」概要

日 時：6月25日（火）8：40～8：55

場 所：コープ葛飾白鳥店 1階正面エントランス（予定）

出席者：コープみらい 理事長 新井 ちとせ

■「コープ葛飾白鳥店 説明会」概要

日 時：6月25日（火）9：50～10：20

場 所：コープ葛飾白鳥店 打ち合わせルーム（予定）

出席者：コープみらい・コープデリ連合会 常務執行役員 店舗事業本部長

店舗商品 統括部長（兼） 大川 昌彦

— コープみらい「葛飾白鳥店」 店舗概要 —

- 【所在地】 東京都葛飾区白鳥 4-10-17
- 【アクセス】
- ・京成本線「お花茶屋駅」から徒歩約15分
 - ・京成本線、京成押上線「青砥駅」から徒歩15分
(バス)「青砥駅」より、
京成バス〔新小53〕亀有駅行き、「亀有新道」下車3分
 - ・JR常磐線「亀有駅」から徒歩20分
(バス)「亀有駅」より、
京成タウンバス〔小54〕新小岩駅行き、または、
京成バス〔新小53〕新小岩東北広場行き、
「亀有新道」下車3分

【電話番号】 03-6662-4735

【開店日時】 6月25日(火) 午前9時
オープニングセール：

- ・第1弾：6月25日(火)～6月28日(金)
- ・第2弾：6月29日(土)～7月1日(月)

【営業時間】 午前9時～午後10時45分

【定休日】 1月1日

【日商/年商計画】 日商549.5万円/年商20.0億円(初年度)

【店長】 後藤 聡(ごとう さとし)

【従業員数】 正規18人/パート・アルバイト61人(167時間/月で換算)

【敷地面積】 約2,397坪(約7,920,75m²)

【売場面積】 約590坪(約1,950m²)

【駐車場/駐輪場】 駐車場212台/駐輪場251台

【商圏人口】 0.5km商圏：約1.4万人(6,200世帯) /1km商圏：約5.3万人(24,000世帯)
2km商圏：約19.4万人(90,000世帯)

【テナント】 1F：スギ薬局※(ドラッグストア)、ママショップ加納※(クリーニング)
2F：しまむら(衣料品)、ダイソー※(均一価格ショップ)、
東京靴流通センター※(靴)、JOY FIT 24(フィットネスクラブ)、
カットオンリークラブ※(理美容)、クリニックモール(歯科・内科・耳鼻科)
※印のテナントは同日にオープンします。



《立地と商圏》

コープ葛飾白鳥店は、京成本線「お花茶屋駅」「青砥駅」から、ともに1.2キロ(徒歩15分)、JR常磐線「亀有駅」(徒歩20分)から2.0キロに位置しています。商圏特性として、1キロ圏内の人口は5万3,000人と人口密度は高く、約7割が集合住宅にお住まいの都市部の住居構成です。年齢別では、40歳代が最も多く、60歳代以降も高い比率です。家族構成は単身世帯と2人世帯で6割以上を占めていますが、0.5キロ商圏では子育て層も多く見られます。1キロ商圏内の組合員比率は36%と今後の伸長も見込める地域です。

—コープ葛飾白鳥店の主な特徴—

◆農産

- ・コープの産直を中心にコープならではの価値が伝わる商品を中心に品揃えします。地場野菜コーナーは、コープみらいの産直産地で構成する「千葉アグリコルツアー」の若手生産者が作る新鮮な農産物を提供します。また、コープのこだわりとしてJAS有機野菜コーナーを設置します。
- ・需要の高まっているサラダ商品は、店内キッチンで生産したカップサラダ、店内加工の蒸し野菜を品揃えします。また、カット野菜や下ごしらえ済み野菜（みんなの野菜）、カットフルーツの品揃えを拡大します。

◆水産

- ・天井まで拡大したガラス窓を採用し、見える安心と美味しさを提供します。丸魚・鮮魚売り場はオープンキッチン化して調理依頼や食べ方提案などお客様とのコミュニケーションを図ります。
- ・主力のまぐろは「まぐろショップ」として品揃え、コープこだわりの原料をぶつ切り、切り落としなどを簡便品として品揃えします。また、豊洲市場をはじめコープこだわりの水産品や旬の魚をネタにした「魚屋の鮭」や、市場鮮魚や「産直」など産地にこだわった素材を使った「魚屋の惣菜」を品揃えします。
- ・簡便商品として「冷凍ミールキット」や、フライパンで焼くだけの「自家製味付け切り身」「炊き込みご飯の素」「お魚のIPPIN」などの簡便性の高い商品の品揃えを拡大します。

◆畜産

- ・天井までのガラス窓を採用し、ライブ感のある売場作りを行います。価格志向の高いヤングファミリー世代向け、価格訴求できる商品「うれしい値」を各コーナーで設けます。簡便即食品の需要に対応し、コープの産直肉を使った焼くだけ・炒めるだけの味付けの手間がいらぬ商品を各畜種で品揃えするとともに、簡便商品「おにくのIPPIN」などのコーナー化を致します。
- ・コープの「産地が見える」商品として、国産米を飼料に配合して育てた「産直お米育ち豚」をコーナー化し、おいしさや食料自給力向上への貢献などの価値を売場から発信します。また、抗生物質・抗生抗菌剤不使用の「産直げん気鶏」をコーナー化しクローズアップします。環境配慮の側面から、需要の高まる「ノントレー」（袋入り）商品を品揃えします。

◆惣菜

- ・作業場が天井までの見えるガラス窓を設け、惣菜・ベーカリーを中心に即食商品を「デリカゾーン」として形成します。弁当やおにぎり、カレーバイキングなどの売り場は、平台を配置して買いまわりしやすいレイアウトとします。また、衛生面を考慮し、揚げ物や焼き鳥などのばら売り商品は扉付き什器で取り扱います。
- ・本格鉄板で焼く「グリルデリ」を導入し、ハンバーグやチキンステーキを品揃えするとともに、「産直じゃがいものポテトサラダ」など、産直原料を使った惣菜も提供します。

◆ベーカリー

- ・コープのベーカリーセンターで製造したこだわりの冷蔵生地のパンを提供します。低温長時間熟成（発酵）により小麦の美味しさを引き出したこだわりの商品や、人気の「サクサク熟旨カレーパン」や「グルメサンド」、高温の専用釜で焼き上げた「ナポリピッツァ」など、コープならではの商品を品揃えします。
- ・セミセルフレジを導入し、レジスピードアップとともに金銭授受による衛生管理に配慮します。隣接するイートインコーナーとの連動性を高め、挽きたてコーヒーや、アイスクリームなどを提供をします。

◆日記

- ・需要の高まっている冷凍食品コーナーはリーチインケースを導入し省エネを図るとともに、売場拡大を行い、PB（コープ商品）を中心とした取り扱いを広げます。子育てファミリー層向けに好評をいただいている、離乳食と幼児食の「きらきらステップ」シリーズの品揃えを拡大します。
- ・コープならではの商品をクローズアップします。加工肉コーナーでは「無塩せき商品」をコーナー化し、冷凍野菜コーナーでは「冷凍有機野菜」を集わせて品揃えします。

◆グロサリー

- ・食品売場では、簡便即食食品を特化し、簡便および電子レンジ調理品（無菌米飯・ふりかけ・レトルトカレー・缶詰）とお湯調理品（カップ麺・袋麺・スープ・味噌汁）に分けて、それぞれ同一通路での品揃えをします。また、アレルギー対応商品をコーナー化し「7品目を使わないシリーズ」（特定原材料7品目を使わない食物アレルギー対応商品）を取り扱います。健康配慮コーナーとして「糖質オフ商品」「オーガニック商品」「グルテンフリー商品」をコーナー化します。離乳食コーナーでは先行している冷凍食品に続き、保存の便利な常温商品でも「きらきらステップ」シリーズ品を配置します。
- ・菓子売場では、おせんべいコーナーを食感ごと（サクサク、バリバリ等）に区分けし、嗜好にあわせた選びやすい売場とします。
- ・雑貨売場では商品動向分析から同時購買比率の高い洗剤類（台所・住居など）を、洗剤売り場としてひとまとめにして買いやすい売場にします。はみがき・ハブラシ、文具品は、新しい陳列什器を導入して探しやすい売場とします。近年の災害に備える意識向上に因るため、防災コーナーを常設します。
- ・お酒売場は、清酒コーナーにバイヤーセレクト商品として、山口県と石川県の地酒を取扱います。ワインコーナー前にはおつまみ菓子（ドライフルーツ・珍味・ナッツ類）を品揃えし、ワインとの同時購入を提案します。

◆その他

- ・イートインコーナー「コープカフェ」は、緑豊かな森をイメージしたデザインとしてキッズスペースや、ひと休みできるソファなども配置し、くつろげるスペースを提供します。組合員活動スペースの「コープルーム」と一体化できるようにし、最大90席を用意します。またフリーWi-Fiも提供いたします。



『SDGs』の目標 12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。 ※詳しくはこちら <https://sustainability.coopdeli.coop/>

《生活協同組合コープみらい 概要》

【住 所】	埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5	【総事業高】	3,909億円（2018年度）
【理事長】	新井 ちとせ（あらい ちとせ）	【事業エリア】	千葉県、埼玉県、東京都
【組合員数】	350万人（2019年5月20日現在）	【ホームページ】	https://mirai.coopnet.or.jp/